

いばらき教員応援団

For the future of Ibaraki children

No.9

平成30年度の事業内容をご報告いたします



合同研修会 藤原 正彦 氏

ごあいさつ



理事長
高野 英一

「日本の世の中全体が、あらゆる分野で、非常に悪くなってきてている。このままでは日本の将来は大変になる。」

それには、学校の先生方皆様に高い志のもと高い理想のもと大いに奮い立っていただき、次の時代を担う青少年を子供達を正しく育成させていただく他に道はない」との思いで「いばらき教員応援団」を発足させ、多くの皆様のご支援ご協力に依り、8年目の事業を無事終了することができました。

研修に参加されました多数の先生方が、講演内容に感動され、その気付きからこれから教育活動に生かされるものと思っております。事業を運営していくなかで、責任者として確かな手応えを感じ、今後も、県民運動の一環として茨城の教員を応援し、そのことによって茨城の教育力の向上を目指してまいります。

ここに広く、県民の皆様の、この事業へのご理解とご協力を切にお願い申し上げます。

平成30年度事業概要

目的

日本を代表する一流講師による講演会を開催し、講話を通じて、総合的な教師力の向上に資することを目的とする。

対象者

市町村立小・中学校等、県立高等学校等、県立特別支援学校
・新任校長・副校長
・新任教頭
・新任教務主任

研修会

○合同研修会
6月25日(月)
ホテルレイクビュー水戸 飛天の間
○グループ別研修会
8月2日(木)、8月8日(水)、8月22日(水)
ホテルレイクビュー水戸 飛天の間

講師派遣

○平成30年度若手教員[初任者]研修講座
4月18日(水)
○茨城県市町村教育委員会教育委員研修会
10月3日(水)

For the future of Ibaraki children

合同研修

6月25日(月) ●新任校長・副校長・教頭・教務主任 [参加者 658名]

演題

子21世紀に羽ばたく
供たち



受講者の感想より

一流的の数学学者である藤原先生が、「国語はすべての知的活動の基礎」であり、文学や芸術などをとおして情緒を養うことの重要性を訴えておられることが印象的で、その思いの強さに感銘を受けました。
(小学校 校長)

「弱いもののいじめをするな」などの武士道精神を、生徒たちに伝えたいと強く感じた。人の心を思いやり、真理を大切にする子どもたちを育成していくたい。
(中学校 教頭)

●講師

藤原 正彦 氏

数学者、作家、お茶の水女子大学名誉教授、平成14年度より姫路文学館の館長。

「理論よりも情緒を」と、日本人が備えていて欲しい品格について説いた「国家の品格」が、270万部のベストセラーとなった。

グループ別研修

8月2日(木) ●新任校長・副校長 [参加者 233名]

演題

歴史が教えてくれる
日本人の生き方



受講者の感想より

日本人の道徳心の高さなどは、先人からの「志」として受け継がれてきた。自分の行いを通して、他人の役に立っているという喜びを、社会に広げていくことが教育者としての使命であると感じました。
(小学校 校長)

「学ぶ」とは「よりよく生きる」ためなど、教えていただいたことを本校職員にも伝え、「知性」だけでなく「感性」をも兼ね備えた子どもたちの育成に精進していく所存です。
(小学校 校長)

●講師

白駒 妃登美 氏

大病を患った経験から、命を紡ぐことの大切さを実感し、結婚コンサルタントとして活動する傍ら、歴史講座を始める。講座では、「こんな歴史の先生に出会いたかった」と、涙する参加者が続出。現在は、年間150回を超える講演を行っている。

魂が込められ、志を持って話される白駒先生の姿に聞き入ってしまった。自分も日本人のひとりとして、教育に志を持って取組み、自分の置かれている立場に“道”を感じながら今後も学校経営に活かしていきたい。
(高等学校 校長)

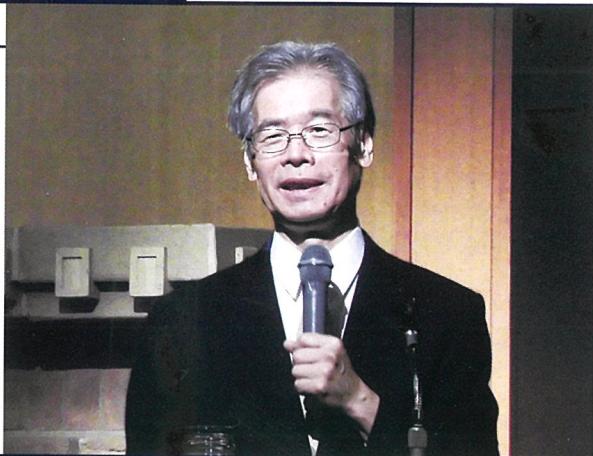
命を輝かせるためには、命にかえても守りたいものをつくることということと、子どもたちもそれを理解できる力があることに気づかされ、自分は子どもを見くびっていたかもしれない反省しました。
(特別支援学校 校長)

グループ別研修

8月8日(水)●新任教頭[参加者 247名]

演題

教育の不易と流行



受講者の感想より

教員の使命を遂行するためには、教師が「使命を自覚し自らの人格を高めること」「自分の人格を子供に写し替えること」といわれた。二十の徳目」を目につけるところに貼った。学校でも研修したい。

(小学校 教頭)

「思いやり」とは、「不快さを与えない」「安心・喜びを与える」という二つの定義を示していただき、自分の心の迷いが一気に晴れた。今後、「師表徳化」の精神で、児童生徒の教育に携わっていきたい。

(中学校 教頭)

●講師

池田 繁美 氏

「素直な心は、よりよい生き方を生み出す」という信念のもと、人格向上のための「素心学」を学ぶ場として、〈素心学塾〉〈耕心塾〉を主宰。また、「経営者のための人間学」「中小企業のための実践財務」「事業計画の立て方」等のテーマで商工会議所、青年会議所、など全国各地で講演活動を行っている。

グループ別研修

8月22日(水)●新任教務主任[参加者 316名]

演題

リーダーシップの本質 ～最高のクラス運営のために 知りたい5つの法則～



受講者の感想より

あっという間の120分でした。木下先生の話に引き込まれていき、子どもたちのために頑張ろうという気持ちになりました。2学期以降、厳格さの中に優しさを持ち自分事として職務を遂行していく決意しました。

(小学校 教務主任)

まさに、「人生を変える授業」でした。仕事は何のために行うのか、「周りを幸せにするため」ということに大変感銘を受けました。「自分の周りに起る出来事は、自分が作り出した結果であると考え、自分から解決に取り組むこと」一番心に残った言葉です。

(小学校 教務主任)

●講師

木下 晴弘 氏

「感動が人を動かす」をモットーに、学力だけではなく、人間力も伸ばす指導は、生徒、保護者ばかりでなく、企業関係者からも絶大な支持を受けている。著書『涙の数だけ大きくなれる』(フォレスト出版)、『全国高校入試問題正解と分析 解答』(学研)、『できる子にする「賢母の力」』(PHP研究所)他多数。

講師派遣

●講師 上甲 晃 氏

- 研修会 若手教員[初任者]研修講座[参加者 828名]
- 演題 「以って、範を示す」

●講師 白駒 妃登美 氏

- 研修会 茨城県市町村教育委員会研修会[参加者 164名]
- 演題 「歴史が教えてくれる日本人の生き方」

いばらき教員応援団へのメッセージ

研修会に参加させていただいて、貴重なお話を聞くことができ、充実した時間を過ごすことができました。応援団の皆様に感謝の気持ちでいっぱいです。いばらき教員応援団の皆様の期待に応えられるよう、教職員が一丸となって、将来の日本を担う人材の育成に努力していきたいと思います。(小学校 校長)

このような貴重な研修を企画してくださいました高野理事長はじめいばらき教員応援団の皆様に感謝申し上げます。今回の研修で伺ったお話を心に刻み、自己研鑽に務め、得たことを職場等にもフィードバックできるよう心掛けたいと思います。(小学校 教務主任)

教師にできることは、それができると信じて情熱を失わず日々子どもたちと向き合うことだと思います。私の情熱が効果的に子供たちのこれからの一助となるヒントをいただきました。貴重な講演を聴く機会をいただき、感謝いたします。(高等学校 教務主任)

事業計画

○ 合同研修会

平成31年8月20日(火)
ホテルレイクビュー水戸 2階 飛天の間
講師:井村 雅代 氏

○ グループ別研修会

平成31年6月24日(月) 新任校長・副校長
平成31年7月 4日(木) 新任教頭
平成31年7月29日(月) 新任教務主任
ホテルレイクビュー水戸 2階 飞天の間

○ 講師派遣

若手教員[初任者]研修講座
講師:上甲 晃 氏
茨城県市町村教育委員会研修会
講師:池田 繁美 氏

いばらき教員応援団〈役員一覧〉

【役員】

理事長 高野 英一 タカノフーズ株式会社
専務理事 打越 芳男 株式会社打越製材工場
常任理事 加藤 啓進 茨城日産自動車株式会社
常任理事 沼尻 博 沼尻産業株式会社
常任理事 渡邊 武 茨城県信用組合
理事兼事務局長 石原 道明 元城里町教育委員会教育長

副理事長 幡谷 浩史 茨城トヨタ自動車株式会社
常任理事 大久保 博之 茨城県商工会議所連合会
常任理事 関 正夫 関彰商事株式会社
常任理事 諸岡 信裕 社団法人茨城県医師会
監事 和田 芳武 ネットトヨタ茨城株式会社

【幹事】

鬼澤 慎人 株式会社ヤマオコーポレーション
鯨岡 則雄 株式会社大宮自動車教習所
鈴木 勝彦 株式会社鈴木良工務店
幡谷 史朗 茨城トヨタ自動車株式会社
和田 幾久郎 株式会社祐日本店

加藤 敏彦 茨城日産自動車株式会社
坂場 英利 株式会社白英社
関 正樹 関彰商事株式会社
藤田 卓也 株式会社フジタビジネスマシンズ

今後も広く県民の皆様のご参加をお願いいたします

〈趣旨に賛同される方へ〉

趣旨に賛同される方は、本リーフレットに添付されております「いばらき教員応援団入会申込書」に必要事項を記入の上、下記の問い合わせ先に郵送でお申し込みください。ホームページからも入会申込書がダウンロードできます。

いばらき教員応援団 <http://www.ibaraki-tcp.jp>

【問い合わせ先】

茨城県教育庁高校教育課内 いばらき教員応援団事務担当

〒310-8588 茨城県水戸市笠原町978-6 TEL.029-301-5260